

# 静岡県東部地域企業経営動向調査

(2013年1-3月期実績、2013年4-6月期見通し)

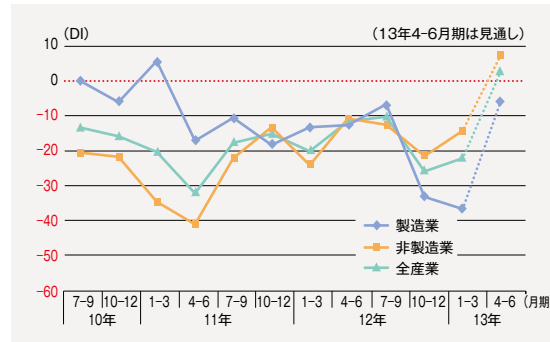
## 1 業況概要(自社)

### 全業種DIは非製造業が下支えし上昇に転ずる

静岡県東部地域における2013年1-3月期の業況判断DIは、全産業で-22.2(前期-26.0)と若干回復した。製造業はパルプ・紙・紙加工品などで判断が悪化、足元の売上や利益環境の悪化もあり-36.8(同-33.3)と前期に続いて低下した。一方、非製造業は旅館・その他宿泊所や卸・小売・サービス業で改善が進んだため、全体で-14.3(同-21.6)と上昇に転じ、製造業と非製造業で対照的な動向を示している。

2013年4-6月期の予想DIは、全産業で2.8と今期比で大幅に上昇する見込み。製造業、非製造業とも売上・利益動向の先行き改善が期待され、業況感も

上向きとなっている。



### 業種別天気図



(2013年4-6月期は見通し)

業種	2012年 10-12月期	2013年 1-3月期	2013年 4-6月期
製造業	傘	傘	傘
食料品	傘	傘	傘
紙・パルプ・紙加工品	傘	傘	傘
一般機械器具	傘	傘	傘
非製造業	傘	傘	傘
卸・小売・サービス業	傘	傘	傘
旅館・その他宿泊所	傘	傘	傘
建設業	傘	傘	傘

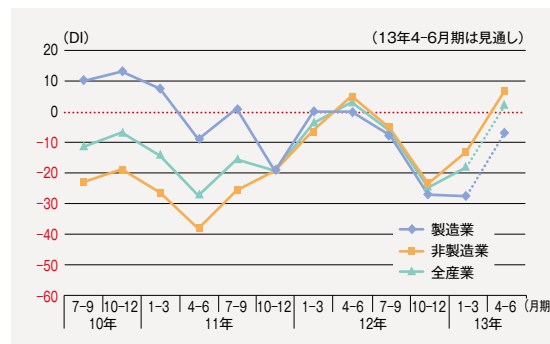
## 2 売上動向

### 製造業は横ばい、非製造業は改善。来期は上昇期待

2013年1-3月期の全産業の売上動向DI(対前年同期比)は-18.1(前期-24.8)と上昇に転じた。製造業では食料品で大幅に改善された一方、パルプ・紙・紙加工品が大幅に悪化したため、DIは-27.6(同-27.1)とほぼ横ばいで推移した。また、非製造業では旅館・その他宿泊所や建設業を中心に各業種で改善が進んだため、DIは-13.0(同-23.5)と反転上昇している。

2013年4-6月期の予想DIは、全産業で2.0と大幅な上昇が見込まれる。業種別でも製造業-6.9、非製造業6.9といずれも上向いており、今後の売上

動向改善への期待が強まっている。



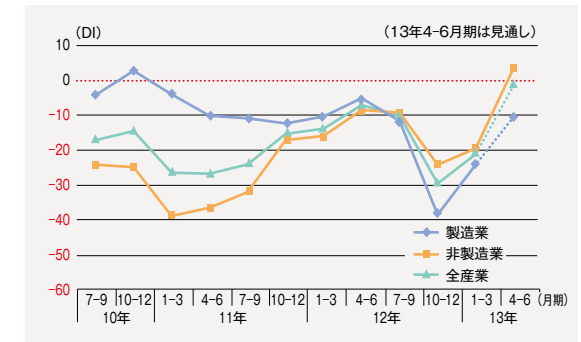
## 3 利益動向

### 全産業で回復に転じ、来期はさらに上昇期待強まる

2013年1-3月期の全産業の利益動向DI(対前年同期比)は-21.1(前期-29.5)と売上動向DIと同じく上昇に転じている。前期大幅に落ち込んだ製造業では、金属製品やパルプ・紙・紙加工品は低下したが、食料品や一般機械器具で大幅に改善し、DIは全体で-24.1(同-38.5)と回復に転じた。非製造業でも旅館・その他宿泊所を除く各業種で上昇し、全体で-19.4(同-24.1)と上昇している。

2013年4-6月期(見通し)の予想DIは、全産業で-1.2と大幅な上昇が見込まれている。うち製造業では-10.3、非製造業では3.8とプラス水準に達し、期

待感がより強まっている。



## 4 経営上の問題点

### 「原材料・仕入商品の値上がり」が大幅に増加

1位の「受注・売上の停滞・減少」、2位の「過当競争・製品安」順位の変化はないものの、「受注・売上の停滞・減少」は10ポイント以上低下している。一方で、「原材料・仕入商品の値上がり」が製造業、非

製造業とも大幅に増加、4位に上昇した。さらに「従業員の高齢化」「その他経費の増加」も比率がやや上昇に転じている。

(単位: 社、%)

項目	12年7-9月期		12年10-12月期		13年1-3月期		順位変動
	企業	比率	企業	比率	企業	比率	
1. 受注・売上の停滞・減少	178	65.7	178	69.0	146	58.9	→
2. 過当競争・製品安	112	41.3	114	44.2	97	39.1	→
3. 人材の育成	102	37.6	90	34.9	84	33.9	→
4. 原材料・仕入商品の値上がり	47	24.4	41	15.9	73	29.4	↑
5. 従業員の高齢化	69	21.8	53	20.5	60	24.2	→
6. 生産・販売能力の不足	66	25.5	61	23.6	54	21.8	↓
7. その他経費の増加	59	17.3	47	18.2	52	21.0	↓
8. 人件費の増加	37	13.7	36	14.0	37	14.9	→

※12年10-12月期は速報値から確定値に修正しています。

#### 調査の概要

1. 調査目的 / 静岡県東部地域(富士川以東)の景気動向と先行きを予測し、主要産業の実態を把握
2. 調査対象企業 / 静岡県東部地域に立地する企業1,050社 回答数248(回答率23.6%)
3. 調査方法 / 当研究所の指定した項目につき、記名式で実績と見通しを記入するアンケート調査
4. 調査対象期間 / 実績:2013年1-3月期 見通し:2013年4-6月期
5. 調査時点 / 2013年2-3月

DI: ディフュージョンインデックス(Diffusion Index)の略。「上昇、増加、好転」した企業割合から「下降、減少、悪化」した企業割合を差し引いたもので、業況判断を見る指標です。

\*この他、今回は「設備投資計画」「為替レート(円安の影響)」についても調査を実施しています。調査結果は弊社ホームページ(<http://www.srgi.or.jp>)をご覧ください。